

1. 件名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備（増設）の耐震設計に係る面談
2. 日時：令和4年7月14日（木）10時00分～11時30分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

新井安全審査官、高木係長、塩唐松係員

高木技術参与（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制部 検査グループ 専門検査部門

山中原子力専門検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当6名（テレビ会議システムによる出席）

#### 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、今後増設を予定している使用済燃料乾式キャスク仮保管設備の耐震評価方針及びその検討状況について、主に以下の説明があった。
  - 乾式キャスク仮保管設備の主要設備に対する耐震クラスの考え方について
  - 乾式キャスク本体の耐震評価における評価条件や評価方法について
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、以下のコメント等を行った。
  - 大型廃棄物保管庫の耐震評価の考え方を参考に、乾式キャスク仮保管設備の耐震クラス分類の考え方について説明すること。
  - 乾式キャスク本体の耐震評価における評価条件や評価方法について、衝突性評価など、改めて説明すること。

#### 6. その他

資料：

- 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備（増設）の耐震設計について

以上